

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単 位	14単位
科目コード 004400	科目名 メンズデザイン	授業期間	通年

担当教員(代表)：鈴木 憲道	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 メンズデザインおよび服飾造形に関する理論的知識、審美的見識を有する人材を育成するために、専門的かつ高度な技能を教授研究するとともに、メンズアパレル業界に広く寄与できる人材の輩出を目的とする。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

・メンズデザイン論	通年4単位	004400
・メンズデザイン演習 実技	通年4単位	004600
・メンズデザイン演習 デザイン	通年6単位	004500

1 紳士服の基本知識	1コマ(前期)	スタイル コーディネイト 副資材
2 原型論	1コマ(前期)	衣服製作のための人体計測 男子原型の作図法 原型論
3 シャツ	30コマ(前期)	『フレックスジャパン株式会社』とのコラボレーション「シャツ講座」連動実物制作
4 パンツ	30コマ(前期)	デザイン展開と作図 パンツの縫製法/示範 実物制作
5 ネクタイ	3コマ(前期)	ネクタイの縫製
6 バザー作品	29コマ(前期・後期)	会社形態によるブランド設定 コンセプト/デザイン提案 実物制作
7 部分縫い	9コマ(後期)	箱ポケット/フラップ付き両玉縁/チケット/剣玉縁
8 ベスト	34コマ(後期)	デザイン展開と作図 ベストの縫製法/示範 実物制作
9 卒業制作	79コマ(後期)	ジャケットのデザイン展開と作図 ジャケットの縫製法/示範(毛芯仕立て) (フォーマルウェア コート＝講義のみ) 実物制作 卒業ショー

評価方法・対象・比重
 S～C・F評価 評価基準： 論＝学業評価(各期末試験の得点)100% 演習＝学業評価(平常成績)80%/授業姿勢20%

主要教材図書	オリジナルプリント、メンズウェアI・II(体型・シャツ・パンツ・ジャケット・ベスト)(文化出版局)
参考図書	MEN'S CLUB BOOKS(婦人画報社)、エスカイヤ版20世紀メンズファッション百科事典(スタイル社)、GENTLEMAN、男子ズボン製図/素材対応のカッティング(アパレル工業新聞社)
その他資料	参考作品

記載者書名欄 鈴木憲道

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単位	4単位
科目コード 004700	科目名 パターンデザイン論	授業期間	年間

担当教員(代表)： 小川 登	共同担当者：
----------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

授業概要：アパレル企業を始め衣料関係企業に於ける即戦力を目指した、パターンナーの育成。

到達目標：各アイテムの原型パターン作成に伴う、採寸方法、体型把握、実物型紙作製、着せ付けテクニック、補正方法迄。

レベル設定：メンズパターンナーの実技試験に対応する作図法で、スラックス、ベスト、ジャケット、コート各アイテムを機能性とデザイン性を加味した裁断方法で実習し型紙設計（パターンデザイン）を体型的に理解させる。

【授業計画】

コマ	内容	コマ	内容
1	デザイン領域・メンズ企画・品質・生産概論・パターン作成。	16	ジャケットSB3ツボタン中掛けモデル ・1/4尺定規によるSB3ツボタン中掛けモデル製図の作製
2	スラックス（基本構造と名称・採寸方法に付いて。） ・1/4尺定規によるワンアウトタックモデルの製図の作製実習 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。	17	グレーディングの基本スラックス・ジャケット ・1/4尺定規によるグレーディングの基本展開作製実習 ・実寸によるグレーディングの基本展開の作製実習
3	スラックス（基本モデル作製）・JIS基本サイズに付いて ・1/4尺定規によるワンアウトタックモデルの製図の作製実習 ・実寸によるワンアウトタックモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。	18	ブレザーDB4ツボタンモデル ・1/4尺定規によるDB4ツボタンモデル製図の作製実習 ・実寸によるDB4ツボタンモデル製図の作製実習
4	スラックス（ツアアウトタックモデル作製） ・1/4尺定規によるツアアウトタックモデルの製図の作製実習 ・実寸によるツアアウトタックモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認	19	メンズファッションの代表的なスタイルに付いて ・英国・ヨーロッパ・アメリカンスタイルに付いて ・メンズフォーマルの基礎知識。
5	スラックス（ニッカボッカモデル作製） ・1/4尺定規によるニッカボッカモデルの製図の作製実習 ・実寸によるニッカボッカモデルの製図の参考作製実習。 ・現物サンプルによるイメージと縫製特徴点の確認	20	ノーフォークジャケット ・1/4尺定規によるSBノーフォークの製図の作製実習 ・実寸によるSBノーフォークジャケットの製図実習。 ・現物サンプルによるイメージと縫製特徴点の確認。
6	スラックス（補正方法に付いて） ・1/4尺定規によるスラックスの補正方法実習 ・着せ付けによる体型把握とパターン補正方法の実習。	21	フォーマルジャケット（ピークカラー） ・1/4尺定規によるSB1ツボタンモデル製図の作製実習 ・実寸によるSB1ツボタンモデル製図の作製実習

7	<p>ベスト（基本構造と名称・採寸方法に付いて。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。 ・ <p>J I S基本サイズに付いて。</p>	22	<p>フォーマルジャケット（ショールカラー）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB1ツボタンモデル製図の作製実習 ・実寸によるSB1ツボタンモデル製図の作製実習
8	<p>ベストSB5ツボタンモデル（基本モデル作製）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB5ツボタンモデルの製図の実習 ・実寸によるSB5ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 	23	<p>ジャケット用スリーブ（スリムモデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるスリムスリーブモデルの製図の作製実習 ・実寸によるスリムスリーブモデル製図の作製実習。
9	<p>ベストDB6ツボタンモデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるDB6ツボタンモデルの製図の実習 ・実寸によるDB6ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 	24	<p>ラグランコート（基本構造と名称・採寸方法に付いて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるラグランコートモデルの製図の実習。 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認
10	<p>ベスト（補正方法に付いて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるベストの補正方法実習 ・着せ付けによる体型把握とパターン補正方法の実習。 	25	<p>ラグランコート（基本モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるラグランコートモデルの製図の作製実習 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。
11	<p>スラックス&ベストの仮縫い現物との摺合せ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸スラックスのパターンと仮縫い製品の摺合せを行い構造線と寸法変化に伴う出来上り製品の感覚を養う。 ・着せ付けによる体型把握とパターン補正方法の確認。 	26	<p>ラグランスリーブ（3枚袖モデル）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるラグランスリーブモデルの製図の作製実習 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。
12	<p>カマーバンド（5本ヒダモデル作製）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるカマーバンド5本ヒダの製図の実習 ・実寸によるカマーバンドの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認 ・紳士服の生産フローチャート、企画から生産販売迄。 	27	<p>ラグランコート（補正方法に付いて）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるラグランコートの補正方法 ・ラグランコートの仮縫い方法。
13	<p>ジャケット（基本構造と名称・採寸方法に付いて。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるスリーブ基本モデル製図の作製実習 ・採寸方法及び着せ付け方法に付いて。 	28	
14	<p>ジャケット（基本モデル作製）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるSB2ツボタンモデルの製図の作製実習。 	29	

	<ul style="list-style-type: none"> ・実寸によるSB2ツボタンモデルの製図の作製実習。 ・現物仮縫いサンプルによるイメージと注意点の確認。 		
15	<p>ジャケット用スリーブ基本モデル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1/4尺定規によるスリーブモデルの製図の実習 ・実寸によるスリーブ製図の作製実習。 ・商品の品質に関する主な法律（家庭用品品質表示法） 	30	

<p>【評価方法】</p> <p>1・実技作図試験 2・ジャケット、スラックスモデル（メンズパターン実技試験対応） 3・授業姿勢 4・出席時間数</p>

<p>主要教材図書 1・伝統的紳士服裁断方法 2・オリジナルテキスト 3・オリジナル資料</p>
<p>参考図書</p>
<p>その他資料</p>

<p>記載者氏名 小川 登</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12213	科名	アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単 位	1単位
科目コード	102400	科目名	グレーディング	授業期間	後期

担当教員(代表)：加藤紀人	共同担当者：
---------------	--------

教育目標・レベル設定など

アパレル CAD を利用した演習を通し、合理的な考えでグレーディング（サイズ展開）を主に学ぶことを目標とする。グレーディングの基になるパターン展開・平面作図に始まり、メンズ体型を考慮したサイズ展開をおこなう。また、「メンズパターン論」とリンクさせ、手作業の内容を CAD 上での再現に必要な要素の理解を深める。

<授業概要>

I. ガイダンス (1コマ)

II. パターンメイキング (基礎) (3コマ)

- ① 文化式成人女子原型 囲み作図 (直線作成、曲線作成、線カット等)
- ② シャツ有型からの作図 (部品作成、ピンタック、曲線作成)

III. パターンメイキング (応用) (3コマ)

- ① 工業用パターン (見返し、表衿展開 ※ジャケット有型使用)
- ② 縫い代付け (縫い代幅、角処理、高さ合せ)

IV. マーキング (1コマ)

- ① パターンメイキング (応用) を利用した型入れ (条件設定、用尺、歩留算出)

V. パターンメイキング実技試験 (1コマ)

VI. グレーディング (レディース) (2コマ)

- ① ピッチ式 GR (スカートを利用し、ピッチ・方向の割り出し)
- ② 計算式 GR (ブラウスを利用し、計算式の算出方法)

VII. グレーディング (メンズ) (2コマ)

- ① パンツ (股上、股下の考え方)
- ② レディースとの違い
- ③ 筆記試験

「使用ソフト」 東レ ACS 株式会社 クレアコンポ

評価方法・対象・比重

試験 (実技・筆記) (60%) + ファイル (20%) + 出欠席 (20%)

主要教材図書

参考図書

その他資料：私製プリント

記載者書名欄 加藤紀人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12213	科名	アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単位	1単位
科目コード	102200	科目名	工業ニット演習	授業期間	前期

担当教員(代表) : 田才 由美子	共同担当者 : 前田 亜希子
-------------------	----------------

教育目標・レベル設定など
ニットの基礎知識・商品知識を習得し、アパレルにおけるニット製品を総合的に理解する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

*ニットの一般知識について
ニットの起源歴史 織りと編みの違い ニットの特性
ニットの三原組織 JIS記号 編成原理 素材 テキスタイル 器具 用具など

*丸編み製品
横編み製品の理解・Tシャツパターンについて

*Tシャツ縫製
ニットの特殊ミシンの扱いを理解し 伸縮素材の縫製技術 テクニックを学ぶ
Tシャツ製作

*ニットの基礎技術
棒針編み(3原組織)基礎編み製作
工業用手横機による基礎編み製作
ゲージについて(ゲージ見本配布)
家庭用手編み機デモンストレーションのみ
コンピュータニット(7G、12G)用いジャカード編地編み立て

*横編み製品について
セーターの編地、縫製方法分析

評価方法・対象・比重
提出物 …80%
出欠席・授業姿勢…20%

主要教材図書

参考図書

その他資料 オリジナルプリント

記載者書名欄 田才 由美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12213	科名	アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	2単位
科目コード	608200	科目名	メンズファッション環境情報	授業期間	通年 ()

担当教員(代表) : 金田武	共同担当者 :
----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 メンズファッションデザイナーとしての情報収集能力、及び情報の咀嚼、活用能力の育成を目標とし、卒業後企業において、即戦力として活躍できるレベルの、実務的ワーキングスキル修得を目指します。

授業概要

前期

- ・ ロンドン・ミラノ・パリ2017AWメンズコレクションより、画像をもちいたファッショントレンドの解説
- ・ 国内テキスタイルメーカーの日本市場における2017AW生地トレンド解説
- ・ アパレルにおける商品コスト解説とトレンド情報、トレンド素材からのデザイン演習
- ・ 情報とデザイン(アイデア)発想論、プレゼンテーションの必要性の解説と演習
- ・ 企業における業務フロー内容とスケジューリングポイントの解説、把握
- ・ サーベイの要点解説と情報からのデザインワーク及びプレゼンテーション演習
- ・ リテールの現場からのマーケティング方法論、バイイングワークの解説

後期

- ・ ロンドン・ミラノ・パリ2018SSメンズコレクションより、画像をもちいたファッショントレンドの解説
- ・ 国内テキスタイルメーカーの日本市場における2018SS生地トレンド解説
- ・ トレンド情報と流通する生地サンプルからの2018SSに向けたデザイン演習
- ・ トレンド情報からの国内マーケットに向けた具体的な戦術と実務ワークの解説
- ・ 差別化できるブランディングとコンセプトメイキングの研究、資料作成
- ・ サーベイによる情報からのブランド開発、ブランディング、マーチャンダイジング資料作成及びデザインワーク
- ・ サーベイからの開発ブランドプレゼン資料作成とプレゼンテーション演習
- ・ その他、各企業のデザイナー、テキスタイルデザイナー等とのトークセッション

評価方法・対象・比重
各期末試験

主要教材図書 オリジナル開発資料

参考図書 なし

その他資料 アパレル企業内実務資料

記載者氏名 金田武

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 12213	科名` アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単 位	2単位
科目コード` 500830	科目名` ファッションデザイン画 III	授業期間	(通年)

担当教員(代表): 橋本 定俊	共同担当者:
-----------------	--------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 どのような方法でアパレル業界に携わり社会に結びついていくか自ら考えようとする能力と
 学生各自のアイデンティティーの確立を基にメンズデザインのプロとして業界に対し戦力育成
 を目指し就職対応のデザイン画ファイルを制作する。

- 1 人体のプロポーション メンズ(3コマ)
 ヌードプロポーション
 正面・横・斜め・後ろ
- 2 ベーシックアイテムのスタイル画と製品図(4コマ)
 シャツスタイル(着色仕上げ)
 スーツスタイル ジャケット・パンツ
- 3 デザイン発想(4コマ)
 テーマ設定の基にメンズアイテムのオリジナルデザイン
- 4 企画ブック制作(3コマ) + 夏期課題
 次シーズンのオリジナルデザイン提案
- 5 機能服のデザイン考案(2コマ)
 機能服の歴史から現代に合うテーマの基にオリジナルデザイン
- 6 パターン・図案のデザイン考案(2コマ)
 オリジナル図案をデザインしベーシックアイテムに着色表現
- 7 ファッションクロッキー(2コマ)
 制限時間内に素早く描くためのテクニック
- 8 修了制作(5コマ)
 校内ファッション画展
 テーマの基ファッションイラストレーションを描く
 画材紹介・パステル・マーカー(デモンストレーション)
- 9 まとめ(2コマ)

評価方法・対象・比重
 1～8の各課題作品と学年末試験による評価

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者氏名

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単位	1単位
科目コード 609520	科目名 アパレル商品企画Ⅱ(自由選択)	授業期間	前期

担当教員(代表): 高山 彩香	
-----------------	--

教育目標・レベル設定など

・決められたターゲットやゾーンに合わせてデザインを行うことで、企業デザイナーとしてのスキルを学ぶことを目標とする。又、素材や価格設定、商品投入のタイミングなど、より具体的に落とし込むことで店頭でリアルに売れる服のデザインを習得する事を目指す。ポスターを製作し、最終プレゼンを行う。

- 1、2 ポスターマークプレゼン、コーディネート、アイテム提案
- 3、4 上記内容、カウンセリング(アイアポスター借用)
- 5、6 物撮り、ルック撮影指導
 - モデルイメージ、ロケハン等、撮影時の説明
 - コーディネート、アイテム展開作品制作スタート
 - 撮影実習、撮影場所決定、モデル手配、スタジオ申請など
- 7、8 完成ポスターチェック
- 9、10 就活に向けてまとめ及び、修正
- 11、12 就活展示会、展示内容対策(展示のVMD)
- 13、14 展示に対してのプレゼン内容対策

評価方法・対象・比重

・授業評価 80%(ポスタープレゼン) 授業姿勢 出欠 20%

主要教材図書
参考図書
その他資料

記載者書名欄 高山 彩香

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単 位	1単位
科目コード 504000	科目名 グラフィックワーク	授業期間	前期 (13)

担当教員(代表) : 佐谷 眞樹	共同担当者 :
------------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 アドビ・イラストレーターを使って精密なハンガーイラストの作成とデザイン展開。
 先染め柄やプリント柄の製作とシュミレーション。「デザインおよび企画プランの美しいビジュアル表現」を可能にする為のベース技術を学ぶ。

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オブジェクトの作成と変形、長方形から身頃を描く	16	
2	シャツを描く=身頃、衿、袖の作成	17	
3	シャツを描く=ステッチ・ポケットの作成	18	
4	シャツを描く=肩ヨークや切り替えパーツの作成	19	
5	シャツを描く=デザインの効果的な修正方法	20	
6	ジャケットを描く(フロント&バックスタイル)	21	
7	柄の作成=ストライプ・チェックを作る	22	
8	柄の作成=プリント柄&モノグラムを作る	23	
9	ベルト、バックルの表現=金属の表現、レースアップ表現	24	
10	チェーンベルト、二本針などをブラシで作成	25	
11	自己表現によるデジタルマップ作成	26	
12	自己表現によるデジタルマップ作成	27	
13	自己表現によるデジタルマップ作成	28	
14		29	
15		30	

評価方法・対象・比重
 課題制作物<スキル及びデザイン・イメージの表現力>・出席率

主要教材図書
 参考図書 なし
 その他資料 製作手順のデータを配布

記載者氏名 佐谷眞樹

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12213	科名	アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単位	1単位
科目コード	200100	科目名	プリントデザイン	授業期間	後期

担当教員(代表) : 飯塚 有葉	共同担当者 :
------------------	---------

<p>教育目標・レベル設定など</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタルテキスタイルプリンターを利用したテキスタイルプリントの工程・特徴を理解する。 Photoshop を利用してプリント柄を作成できる技術を身につける。

<p>授業概要=テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先、</p> <ol style="list-style-type: none"> デジタルプリントの概要 : 講義 1コマ <ol style="list-style-type: none"> ①デジタルプリントの特徴 ②機械の種類 ワンポイント柄の作成 : 講義・実習 5コマ <ol style="list-style-type: none"> ①画像の切り抜き ②画像の合成 ③Tシャツグラフィックの作成 ④Tシャツプリント 連続柄の作成 : 講義・実習 3コマ <ol style="list-style-type: none"> ①四方送りの作成方法 ②ハーフステップ送りの作成方法 プリント作品の制作 : 実習 4コマ <ol style="list-style-type: none"> ①画像のスキャニング ②画像の切り抜き ③画像合成・送りつけ ④プリント プレゼンテーション <ol style="list-style-type: none"> ①コンセプトシートの作成 ②発表・講評

<p>評価方法・対象・比重</p> <p>学業評価 60%、授業姿勢 40%</p>
--

<p>主要教材図書 プリント</p>

<p>参考図書</p>

<p>その他資料用ソフト Adobe Photoshop CC2018/Adobe Illustrator CC2018</p>
--

<p>記載者書名欄 飯塚 有葉</p>

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 12213	科名` アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	1単位
科目コード` 903300	科目名` 企画論	授業期間	前期

担当教員(代表) : 羽田 武幸	共同担当者 :
------------------	---------

教育目標・レベル設定など
 学生レベルではなく企業間で行われている実践レベルのプレゼンテーションや企画立案を体験することにより就職活動や社会に出てからの即戦力になる企画力・技術を習得

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

フレックスジャパン株式会社とのコラボレーション『シャツ講座』に連携する

- ・プレゼンテーション論
 プレゼンテーションとは
 プレゼンテーションの考え方・方法
- ・企画立案
 商品とは
 企画立案から商品が出来るまで
- ・テーマに沿った資料作成(フレックスジャパンへの商品企画)
 フレックスジャパンへのプレゼンテーション
 マップの作成・相談
- ・作成した資料・デザインのチェック(修正)
- ・プレゼンテーション演習Ⅰ
 フレックスジャパンに向けての演習Ⅰ
- ・演習の確認
- ・プレゼンテーション演習Ⅱ
- ・フレックスジャパンに向けてプレゼンテーション
 講評・採点

評価方法・対象・比重
 S～C・F評価 評価基準：学業評価(平常成績)80%/授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 オリジナルプリント・スライド

記載者書名欄 鈴木 憲道

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12213	科名	ファッション科3年メンズデザインコース	単位	2単位
科目コード	902400	科目名	メンズファッション史	授業期間	通年()

担当教員(代表) : 朝日 真	共同担当者 :
-----------------	---------

概要(教育目標・レベル設定など200字程度)(職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 古代から現在までのミリタリーウェア(軍服)などが公式服になっていく過程、また近代紳士服の原型であるスーツスタイルの誕生からデザインの変遷を見ていく。第二次世界大戦以降はストリートに見るメンズファッションをその時代の音楽や映画も合わせて考察する。そして男性服の流れを見る中で、デザインの発想力を高めていく。

コマ	内容	コマ	内容
1	古代中世のミリタリーウェア	16	1950年代アメリカの男子服
2	中世近世のミリタリーウェア	17	博物館資料実物解説
3	19世紀のミリタリーウェア	18	ビートルズとモッズ
4	博物館資料実物解説	19	クラブ・カルチャーとファッションの関係
5	19世紀ダンディズム	20	サイケデリクスからヒッピー、グラム
6	サヴィル・ロウ形成	21	1970年代パンク
7	アメリカ南北戦争ミリタリーウェア	22	1980年代ニューウェーブ
8	第一次世界大戦のミリタリーウェア	23	1980年代ヒップホップ
9	1920年代の男子服	24	1990年代グランジ
10	1930年代の男子服	25	博物館資料実物解説
11	スポーツウェアの歴史	26	1990年代マッドチェスター
12	1940年代の男子服	27	予備
13	授業内課題提出	28	
14	第二次世界大戦ミリタリーウェア1	29	
15	第二次世界大戦ミリタリーウェア2	30	

評価方法・対象・比重
 前期レポート提出(30%)、学年末定期試験(30%)、出欠と授業態度(40%)

主要教材図書 授業ごとにプリント配布
参考図書
その他資料

記載者氏名 朝日 真

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12213	科名	ファッション3年メンズデザインコース	単位	2単位
科目コード	900120	科目名	英会話 II (選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 薩田 須美子	共同担当者 : 原田 千尋
-------------------	---------------

科目概要 (教育目標・レベル設定など。200字以内で記入してください。HP等に引用し、公開します。)

英会話 I を履修した学生対象のコースで、英語をツールにしたコミュニケーションをとれるようにさらに英語の運用力を高めることを目標とする。グループ、ペア・ワークを中心に会話の模擬体験を通してコミュニケーションには何が必要かを体感できることを目指す。文法中心ではなく、体験的なクラス運営を試みる。

1	Introduction オリエンテーション	15	道案内
2	Unit 7	16	UNIT 17 ショッピング
3	好きな場所、心地よい場所、自分の部屋を説明する。	17	UNIT 19
4		18	自己PR
5	UNIT 8	19	Halloween
6	お店、カフェなどの描写	20	Thanksgiving
7	UNIT 9	21	UNIT 20 ファッションショー
8	指示をする表現	22	
9	UNIT10	23	
10	日常生活	24	Christmas
11	UNIT 11 海外旅行	25	年頭の誓い
12	まとめ	26	オーラルプレゼンテーション準備
13	夏休みのレポート	27	オーラルプレゼンテーション
14	UNIT 14		

評価方法・対象・比重

出席状況 (30%)、小テスト (50%)、ライティング (10%)、努力点 (10%) を総合して評価する。

主要教材図書・参考図書・その他資料等

"Fashionable English" Nan' un-do

記載者署名欄 薩田 須美子

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン3年メンズデザインコース	単 位	2 単位
科目コード 900820	科目名 フランス語 II (選択)	授業期間	(通年)

担当教員(代表) : グリヨ・カミーユ	共同担当者 :
------------------------	---------

1	Introduction & self-introduction	イントロダクションと復習
2	French language generalities	フランス語の性格など全体的に言語を見直し復習をする。
3	Verb être	復習: être 動詞
4	Verb avoir: il y a.....	復習: avoir 動詞
5	Verb avoir	復習: avoir 動詞
6	Numbers	数の表現
7	Ordinal Numbers	序数の表現
8	Verbs faire	faire 動詞の活用
9	Verb faire	faire を使ったの表現
10	~er Main Verbs	主要な動詞活用
11	~er Verbs	好き/嫌いの表現
12	Aller + main verbs	未来の表現
13	Report 1	<i>What are you going to do for the summer vacation?</i>
14	Verb venir + verbs	近接過去
15	3rd group verbs	動詞の活用
16		
17	Modal Verbs	助動詞
18	Auxiliary avoir + past participles	avoir + 過去分詞
19	Auxiliary être + past participles	être + 過去分詞
20	Review	復習: 時制
21	Evaluation and Review	時制の使い分け
22	Correction and further explanation	時制
23	Negative Forms	否定形

24	Movie	フランス語の映画を見る。
25	Report 2	<i>What did you do during the winter vacation?</i>
26	Comparisons and superlatives	比較と最上級
27	Review	復習とまとめ

評価方法・対象・比重
 平常点（出席、クラス参加）、授業中の小テスト40%、レポート60% の結果を総合的に評価する。

主要教材図書	「場面で学ぶフランス語 I」 <i>“En Scene I”</i> 三修社
参考図書	なし
その他資料	なし

記載者氏名	薩田 須美子
-------	--------

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	12203	科名	アパレルデザイン科3年メンズデザインコース	単位	2単位
科目コード	504020	科目名	グラフィックワークⅡ(選択)	授業期間	通年

担当教員(代表) : 加藤正人/佐谷真樹	共同担当者 :
----------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ファッション産業におけるグラフィックの役割と有効性を理解し、ファッション表現のツールとしてパーソナルコンピュータ及び、グラフィックソフトを使う能力を身に着けると同時に、各自のデザイン能力及びプレゼンテーション能力の習得、向上を目標とする。『衣服製品図/デジタルファッション画の展開力、応用力、細部表現等、実務能力習得を目指す。』『ブランドロゴ及びブランディングツール製作を通してグラフィックによるファッションブランディングの意識を養う。』

【授業計画】

授業概要

(1) デジタルファッション画の制作(2コマ)

- ・Photoshopによるファッションデザイン画、スタイル画の製作
- ・デザインの展開

(2) 衣服製品図の制作/応用(2コマ)

- ・Illustratorによる衣服製品図の製作
- ・デザイン展開
- ・デザイン画のまとめ方/レイアウト

(3) 服飾図案の製作(10コマ)

- ・グラフィックパターン、連続柄の制作(Photoshop, Illustrator)
- ・柄の送り、リピートの製作
- ・デジタルファッション画、衣服製品図の制作と柄の落とし込み
- ・レイアウト、デザイン解説とまとめ

(4) ブランドロゴの製作(8コマ)

- ・CI(コーポレートアイデンティティ)について
- ・ブランドロゴの機能と役割
- ・シンボル、図形、マークのデザイン製作
- ・文字、タイプデザイン製作
- ・モノグラムデザイン

(5) ブランディングツールのデザイン(8コマ)

- ・各ブランディングツールの機能と役割
- ・商品下げ札(プロダクトカード)のデザイン
- ・織りネーム(ブランドタグ)のデザイン
- ・ショッパーのデザイン
- ・自由製作

使用ソフト

- ・Mac OS
- ・Adobe Photoshop
- ・Adobe Illustrator

【評価方法】 ・提出課題-80% ・出席率、授業態度-20%

主要教材図書	なし
参考図書	なし
その他資料	課題別各種プリント、作例

記載者氏名 加藤正人

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単位	2単位
科目コード 005020	科目名 創作研究Ⅱ(選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)：鈴木 憲道	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 コンテストを中心に積極的にデザイン画を描き、デザイン感覚と技術を養う。
 また、入選した場合は制作時間として作品制作に取り組む。
 コラボレーション等のイベントにも参加する。

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、
 他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

(実習内容)
 各コンテスト課題のデザイン画を描き、提出期限までに必ず提出する。
 入選した場合、製作時間とする。
 コラボレーションなどのイベントの時間が入る場合もある。

(応募コンテスト)
 東京新人デザイナーファッション大賞
 YKK ファスニングアワード
 千年大賞
 神戸ファッションコンテスト
 倉敷
 文化服装学院 学内コンテスト
 装苑 など

※ 1年間のデザイン画ファイル(A4. B4) 提出

評価方法・対象・比重
 S～C・F 評価 評価基準： 学業評価(平常成績) 80% / 授業姿勢 20%

主要教材図書
 なし

参考図書 なし

その他資料 コンテスト概要

記載者書名欄 鈴木憲道

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	2単位
科目コード 980030	科目名 特別講義Ⅲ	授業期間	通年

担当教員(代表)：鈴木 憲道	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
 主にアパレル業界で活躍している講師を招き、実践経験をふまえた生の情報、リアルタイムな話題などを短期集中で講義していただき、就職や個人の将来の参考、目標とする

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- 1 シャツ・・・・・・・・４コマ 高橋 弘 氏
ドレスシャツの設計
- 2 メンズコレクション情報・・・・・・・・７コマ 石辺 啓道 氏
メンズ業界のあり方
コレクション解説Ⅰ・Ⅱ／ファッションの変遷／
ビジネスガイダンス／ファッションの傾向／社会に出る前に／
伊勢丹メンズ館見学
- 3 マーチャンダイザーの為の知的財産権について・・・・・・・・１コマ 金井 倫之 氏
グローバル時代のブランドの守り方
- 4 ISSEY MIYAKE・・・・・・・・１コマ 宮前 義之 氏
デザイナーの仕事
- 5 SENSE・・・・・・・・１コマ 北原 哲夫 氏
クリエイティブディレクターとは
- 6 デザイナーの在り方・・・・・・・・１コマ 高柳 成克 氏
メンズデザイナーの役割
- 7 メンズファッションの原点・・・・・・・・１コマ 石津 祥介 氏
日本のメンズファッション
- 8 ビスポークテラー・・・・・・・・１コマ 有田 一成 氏
カッターとしての心得
- 9 衣装デザイン・・・・・・・・１コマ 加藤 佑里恵 氏
ステージ衣装の特徴・機能
- 10 服飾副資材・・・・・・・・２コマ 二上 雅雄 氏
服飾副資材
- 11 カッティング技術・・・・・・・・４コマ 杉本 浩一 氏
サヴィルロウのカッティング技術
パンツ/ベスト/ジャケット編
- 12 ライダースジャケット・・・・・・・・１コマ 今村 公輔
Preblicのクリエーション
- 13 ファッションとオペラ・・・・・・・・１コマ 上木 幸夫 氏
ヨーロッパ社交界 オペラの世界
- 14 靴・・・・・・・・１コマ 宮原 勝一 氏
紳士靴の商品知識
- 15 シャツ講座・・・・・・・・６コマ 庄村 成央 氏
フレックスジャパン株式会社とのコラボレーション
メンズシャツ商品企画提案
(メンズデザイン論・企画論と連携して授業を行う)

評価方法・対象・比重
 履修認定 (P表示) 評価基準：学業姿勢・出席状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書 なし
 参考図書 なし
 その他資料 なし

記載者書名欄 鈴木憲道

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` 12213	科名` アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	1単位
科目コード` 947300	科目名` コラボレーションc(自由選択)	授業期間	前期・後期

担当教員(代表): 鈴木 憲道	共同担当者:
-----------------	--------

教育目標・レベル設定など

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

- ・ 昨年度までコラボレーションcで行ってございました講座が、2018年度からレギュラー科目になった為、2018年度のコラボレーションcは、実施致しません。

評価方法・対象・比重

主要教材図書

参考図書

その他資料

記載者書名欄 鈴木憲道

2018年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 12213	科名 アパレルデザイン科3年 メンズデザインコース	単 位	4単位
科目コード 970000	科目名 卒業研究・創作	授業期間	通年

担当教員(代表)：鈴木 憲道	共同担当者：
----------------	--------

教育目標・レベル設定など
各自(又は、グループ)で研究テーマを決め、習得した知識技術を駆使し一年を通して研究、制作を行う事により探究心、計画性、自覚性の向上を目指す

授業概要＝テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

卒業研究・創作 (60コマ)

年間を通し各自(又は、グループ)で研究テーマを設定し研究を行いレポート又は作品制作によって提出。年度末に発表会を行う。

研究テーマの検討・相談・決定

研究・実習

点検

発表・採点

評価方法・対象・比重
S～C・F評価 評価基準：学業評価(平常成績)80%/授業姿勢20%

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 なし

記載者書名欄 鈴木憲道